

第 19 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和 54 年 11 月 14 日（水）
午後 1 時 30 分～3 時 30 分
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題
 - ・ 委員長代理の指名について
 - ・ L-4SC-5 号機の打上げ結果の評価に関する第四部会の審議について
4. 資 料
 - 委 19-1 第 18 回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）
 - 委 19-2 L-4SC-5 号機の打上げ結果の評価について（案）

委 19-1

第 18 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨（案）

1. 日 時 昭和 54 年 10 月 3 日（水）
午後 2 時～3 時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 第三部会の審議について
(2) 日米科学技術研究協力会議宇宙分科会について
(3) その他
4. 資 料
委 18-1 第 17 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 18-2 M-3S ロケット 1 号機の打上げに係る安全の確保に関する審議について（案）
委 18-3 日米科学技術研究協力会議宇宙分科会について（報告）
5. 出 席 者

宇宙開発委員会委員長代理

“ 委員

“ “

“ “

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

“ 長官官房審議官

文部省学術国際局審議官

通商産業省機械情報産業局次長

吉 識 雅 夫

山 内 正 男

八 藤 東 祐

斎 藤 成 文

勝 谷 保

神 津 信 男

大 崎 仁

（代理：池之上）

杉 山 和 男

（代理：吉田）

通商産業省工業技術院総務部長

運輸省大臣官房審議官

“ 海上保安庁総務部長

“ 気象庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

東京大学宇宙航空研究所

宇宙開発事業団システム計画部

“ “

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

“ “ 宇宙国際課長

“ “ 宇宙開発課長

保 阪 勘 次

（代理：高橋）

西 村 康 雄

（代理：富田）

福 田 稔

（代理：山川）

相 良 英 明

（代理：山中）

髙 光 一 郎

（代理：九里）

秋 元 春 雄

炭 電 豊 次

松 浦 雅 洋

佐々木 寿 康

佐 藤 允 克

鈴 木 晃

他

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨

第 17 回宇宙開発委員会議事要旨案が確認された。

(2) 第三部会の審議について

事務局より、資料 18-2 に基づいて説明が行われたのち、

原案通り第三部会への審議付託が決定された。

また、構成員についても原案通り了承された。

(3) 日米科学技術研究協力会議宇宙分科会について

事務局より、資料委 18-3 に基づき、10 月 20 日に開

催された日米科学技術研究協力会議宇宙分科会について報告があり、更に以下の補足説明が行われた。

日米科学技術研究協力のテーマとして、宇宙分野について4テーマが既に米側から提案されていたが、これに関して分科会では次のような日本側の見解を述べ、米側の同意を得た。

- ① 日米宇宙協力については、既に日米合同調査計画で内容、分担関係、実施スケジュール等を定めた17テーマについて協力を進めることが合意されており、この合意に従って17テーマを分離することなく、一体として推進すべきである。
- ② また、協力の推進に当たっては、同様に日米合同調査の合意に従って、両国が自己の活動に必要な資金を負担すること。

L-4SC-5号機の打上げ結果の評価について (案)

昭和54年11月14日

宇宙開発委員会 決定

L-4SC-5号機の打上げ結果を評価するため、次
により調査審議を行うものとする。

1. 東京大学宇宙航空研究所が行ったL-4SC-5号
機の打上げ結果の評価のために必要な技術的事項につ
いて、調査審議を行う。
2. 1.の調査審議は、第四部会において行い、昭和54
年12月中旬までに終えることを目途とする。